

第87号

酪農

とちぎ



2月4日栃木県酪農発表会より発表者の皆さん

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 平成27年乳代集計結果について
- 3 ページ 東西南北（各支所）
- 4～6 ページ 農業士認定、部課だより
(購買企画課・指導企画課)
- 7 ページ 部課だより（生乳販売課）
- 8 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績

「キャラクター笑味ちゃん」



みんなのよい食プロジェクト



平成27年乳代集計結果について

生乳生産実績

昨年の同じ記事の中で、「22万の大台に乗りました」と書きましたが、27年1～12月では23万tを大きく上回り、23万4508tとなりました。日量の推移(図1)を見ますと、毎年上昇傾向にありましたが、今年は大きく上振れし

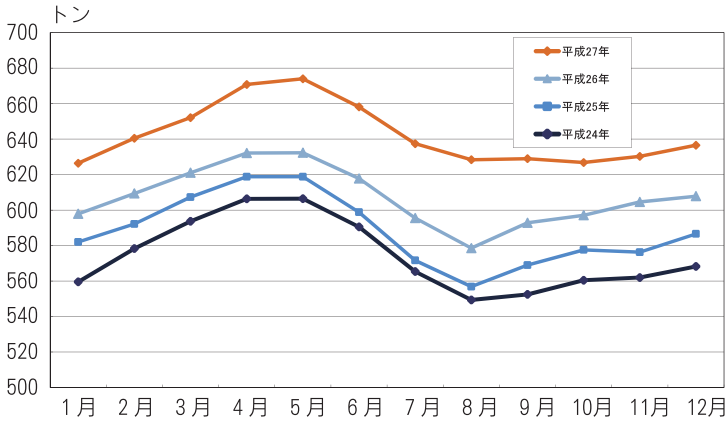


図1 日量の推移

ていることが確認できます。

出荷戸数(表1)は今年も例外

とはならず、例年通り3%程の減少となりました。後継者については大きな問題と捉え、婚活支援

事業等を充実させておりますので、積極的なご

利用・ご参加をお願いしているところ

です。

(表2)では、

一頭当り乳量

那須高原支所において9kgを上回る素晴らしい成績となりました。全体的にも上昇傾向にあり、皆様の向上心が反映された数値であると感じます。

一戸当り飼養

表1 出荷戸数

	平成23年12月	平成24年12月	平成25年12月	平成26年12月	平成27年12月
那須高原支所	331	325	306	295	288
宇都宮支所	93	93	87	85	79
県南支所	105	103	98	96	94
合計	529	521	491	476	461
前年比		98.5%	94.2%	96.9%	96.8%

表2 一頭当り乳量

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
那須高原支所	8,126.1	8,305.1	8,408.6	8,631.9	9,008.3
宇都宮支所	8,309.7	8,708.3	8,751.0	8,890.0	8,960.0
県南支所	7,988.8	8,327.1	8,139.4	8,296.2	8,457.3
平均	8,115.6	8,367.6	8,388.2	8,584.3	8,918.2

表3 一戸当り飼養頭数

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
那須高原支所	65.0	66.6	69.3	76.9	81.4
宇都宮支所	58.5	59.8	61.7	64.1	66.7
県南支所	74.6	79.9	83.3	84.2	84.4
合計	65.6	68.0	70.6	76.0	79.4
前年差		2.4	2.6	5.4	3.4

頭数(表3)は、更に大型化が進み平均80頭が目前となりました。

乳価

支払乳価(図2)手数料等控除後、乳質加算前)は4月に飲用向

けと発酵乳向けで3円の値上げがあり、ご覧の様な結果となりました。また、酪農とちぎ独自の対策として、別途平成27年1～3月でkg当たり2.5円、平成27年12月～平成28年3月でkg当たり5円の対策金があります。

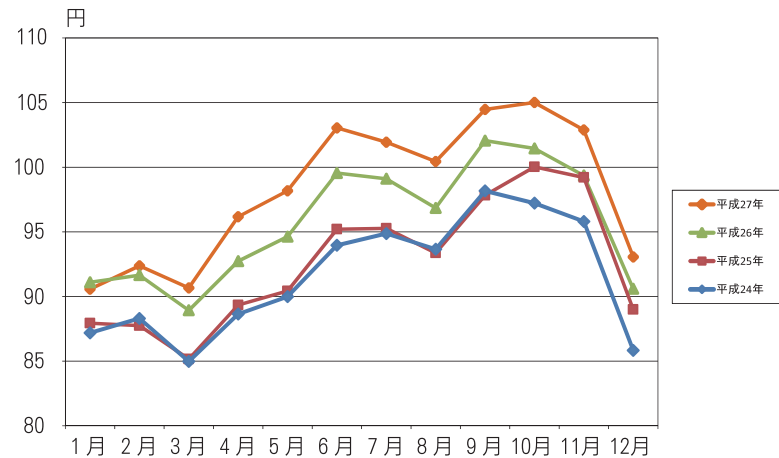
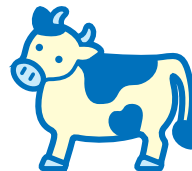


図2 支払乳価(手数料等控除後、乳質加算前)



東西南北

那須高原支所

担い手育成研修会について

那須高原支所では、パソコンでの青色申告を学んでほしいことから、酪農後継者を対象にソリマチ農業簿記ソフトによる税務申告をテーマに研修会を始めました。

昨年11月19日に、パソコンでの青色申告普及に尽力されている長嶋電算の長嶋修一氏を講師に招き、研修会を開催したところ31名の参加者が集まりました。長嶋先生の薦める方法は、JAより通帳データをCD-Rで受け取り（年間5千円）、そのデータをソリマチに一括で取り込み、仕訳入力をお自動で行うというものです。初回の研修会としては、データの取り込みや仕分け入力の練習を行うことで、ソリマチ農業簿記を知ってもらい、平成28年度から本格的に決算までマスターしてもらおう予定でした。しかし、今年から



▶研修会風景

税務申告した

いという希望者が10名ほどおり、年明け3月初めまでに計7回の研修会を重ねることになりました。その間、参加者に仲間意識が芽生え、お互いに教え合うなど良い雰囲気だ研修会を進めていくことが出来たと思います。

平成28年度は、7月に第1回目の研修会を計画しています。一人でも多くの参加者が、シリーズで研修会を継続して支援してまいります。ソリマチで青色申告が出来るよう、是非興味のある方は那須高原支所までご連絡下さい。

宇都宮支所

女性会那須南支部研修会開催

女性会那須南支部（高瀬智子支部長）は2月29日「研修会」を開催しました。

今回の研修は「牛について学びましょう！」という事で、支部員16名が参加し、日頃より診療や繁殖検診等でお世話になっている診療課の吉成正晴課長に講師をお願いして『哺乳』『搾乳の基本』について学びました。

初めに哺乳について、資料を基に哺乳量や飲ませ方について説明が始まると、『我が家では決まった量だけ飲ませているが、飲めただけたくさん飲ませているのですか？』『哺乳瓶とバケツはどちらが良いのですか？』などと質問が

▶研修会風景



相次ぎ、それに吉成獣医が丁寧な答え、次の内容に移るといいう形で活発に進行しました。

その後、寒さから仔牛を守るための敷料や防寒のポイント、下痢

になった時のミルクの飲ませ方、仔牛の症状から考えられる病気やその予防方法など盛りだくさんの内容で、時間があつという間に過ぎてしまいい食後にも延長し続きを再開。搾乳の基本については、乳頭の写真を見ながら説明を聞き、搾乳時の乳房を拭くタオルの消毒については実際に消毒してあるタオルの臭いを嗅ぎ確認するなど基本を改めて学び、終始和やかな雰囲気の中で充実した研修会となりました。

今後支所員の能力向上のため幅広く色々な内容の研修会を楽しんでいきたいと思っております。

県南支所

『宿根アサガオ』で暑熱対策

今年もあと数ヶ月で夏の暑さがやってきます。皆さんはどのような暑熱対策を実施していますか？今回は、一昨年から宿根アサ

ガオで夏の暑さを乗り切っている、真岡市の小倉牧場を紹介いたします。



南北に長い対頭式30頭のつなぎ牛舎の東側に、宿根アサガオを植えて直射日光を遮り、牛舎内を快適にしています。

『宿根アサガオ』は亜熱帯地域に自生するつる性の多年草です。1年草のアサガオと比べると格段に丈夫で、10m以上もつるを伸ばします。開花期間もより長く、6月中旬から霜の降りる11月頃まで咲き続けます。花も葉も大きく、手のひら大になります。

小倉さんは一昨年5月上旬にホームセンターで購入した苗を1m間隔で地植えし、併せてネットと丈夫な支柱を設置しました。その後は、朝・夕の水やりと月一回の肥料を欠かさず行った結果、見事に牛舎東側全面を宿根アサガオが覆い尽くしました。その結果、ここ2年は夏場のDMIも下がらず、牛も人間も快適に過ごしています。

なお、秋以降は根元を稲わらで覆い霜対策をしました。すると3月末には発芽し、2年目となった昨年は、前年以上に繁茂しました。今年もどんな花を咲かせるのか楽しみにしていました。

農業士認定

平成27年度県農業士認定式が1月12日栃木県公館で行われ、農業士12名、女性農業士6名、名誉農業士15名が新たに認定され、福田富一知事より認定証書が授与されました。

今年度の認定により、農業士は180名、女性農業士は114名、名誉農業士は181名となります。本組合からも女性農業士に次の1名の方が認定を受けました。

女性農業士

森 アサノさん（那須塩原市）

（配偶者 森 順一さん）

今回認定された森様には、心よりお祝いと、農業社会における農村地域の活性化や、酪農発展の為に、更なるご活躍をお祈り申し上げます。



森さんご夫妻

部課だより

購買企画課

購買推進女性研修会開催

2月19日、ホテル東日本宇都宮にて、総勢270名の参加のもと、日ごろの感謝と推進を兼ねて購買推進女性研修会が開催されました。今年で11年目になる事業で、昨年まで、一泊での開催でしたが「ひと時も愛牛から離れることが出来ない。」と言う声もあり、日帰りで、場所は皆さんが集まりやすい県央地区での開催となりました。

坂主組合長から感謝の言葉の後「二つの催しを用意しております。一つ目は『おいしい食事』・二つ目は『恒例の抽選』・三つ目は『笑い』で皆様をおもてなしします。」とのあいさつの後、白井副組合長による「那須だいすき牛乳」で声高らかな乾杯の発声により開宴いたしました。

皆さん各テーブルにて和洋折衷の料理に舌鼓を打たれ、楽しい会話で盛り上がっておりました。恒例の抽選会でも、賞品が酪農とちぎ指定3メーカーの飼料等という事で、各メーカーの重鎮による抽選、一等賞は組合役員によ

る抽選で皆さんドキドキしながら結果を見守っておりました。

次に栃木の生んだスーパースター(?)で、とちぎ未来大使も務めている「U字工事」によるお笑いライブでは、普段聞きなれた栃木訛りにもかかわらず、テンポの良い軽快な喋りによる漫才で会場全体が笑いに包まれました。

今回日帰りと言う初めての試みでしたが、参加人数は例年になく大勢の方にお越しいただきました。また組合事業に関しまして皆様方から拝聴した色々の意見を参考に、より良い購買事業につなげ、組合員各位の生産性向上の一助になるよう努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



▲「那須だいすき牛乳」で乾杯後、歓談風景



◀『U字工事』お笑いライブより

指導企画課

第40回栃木県酪農発表会を開催

2月4日、栃木県酪農協会主催による栃木県酪農発表会が、宇都宮市「ホテル東日本宇都宮」において約130名の酪農家及び関係者が参加のもと開催され、酪農協会の石川会長並びに栃木県酪農青年女性会議の小野寺委員長のご挨拶で始まりました。先ず、酪農経営発表部門では、宇都宮市の駒場靖史さん（酪農とちぎ）が「父からの継承と更なる飛躍を目指して」と題して発表されました。駒場さんは、酪農に対する父の熱い想いを察し、大学卒業後北海道の牧場で2年、アメリカの牧場で1年半の研修をした後就農し、飼養管理をはじめ自給飼料の生産や牛群改良に取り組み、経産牛1頭当たり1万キロを超える牛群を維持しています。更に平成27年10月の北海道全共へ出場するなど、素晴らしい成果を発表されました。

また、自由発表部門では、那須拓陽高校の古川幸奈さんが「将来の夢」、矢板高校の小島舞さんが「always be kind to others」と題してそれぞれ発表されました。酪農に対する思いや、人に対する思いを熱く語られました。研修会の部では「獣医



師の一日、基本を大切にしているの酪農経営」と題しまして(旬タマノアニマルクリニック 代表取締役 玉野慎也氏に講演いただきました。最後に今回の発表会へは数多くの酪友の皆様にご参加頂き、誠にありがとうございました。



発表者 駒場靖史 氏

婚活セミナーを開催

2月17日、高根沢町の元気あっぷむらに於いて、婚活セミナーを開催しました。講師には、デートコンサルタントの増田恵里佳(ますだえりか)氏とイメージコンサルタントの渋谷飛佳(しぶやあすか)氏をお招きし、6名が受講しました。セミナーでは恋愛における戦略や会話のテクニックをはじめ、第一印象の大切さについて学びました。特に「第一印象」は、その後の人間関係を左右するほど重要と言われており、3秒から5秒の短時間で、その人の印象が決められてしまうそうです。最初に

相手に与える影響で、次にまた会えるかどうかが決まってしまうため、会場内では実際に正しい姿勢・態度や、表情の作り方も練習しました。また、モテる服装・モテるファッションも勉強しました。身だしなみの最優先は何ととっても清潔感です。清潔感を身につけることは、外見を磨く上で最初にやっておかなければならない、最も重要なことです。その基本を踏まえ、その人に合ったカラーやデザインを選ぶことが、相手に好印象をもってもらえることになるということです。

今回、モテるための勉強をしましたが、やはり基本は誠実に相手に接すること、そして思いやりがあつてこそ、このセミナーが活きてくるのだと感じました。

最後に、お一人の先生はおっしゃいました。

「今日参加された方は、みんな



セミナー風景

誠実で優しい方たちばかりです。ちょっとした努力で、必ず好結果に繋がっていきます」との嬉しいお言葉を頂き、和やかな中にセミナーは終了し、散会しました。

青年部研修会を開催

2月23日、青年部本部(小針勤部長)主催による平成27年度青年部研修会(パネルディスカッション)が、総勢69名の参加のもと、さくら市の塩谷地方農業共済組合にて盛大に開催されました。

本年は、各支所を代表する青年部員4名がパネラーとなり、自らの酪農経営の取り組みを発表しました。また、斉藤技術顧問、吉成診療課長にアドバイザーとしてお越し頂き、講評を頂きました。

パネラーの経営概要から始まり、乳房炎対策、繁殖管理と牛群改良、草地管理、飼養管理と項目別に区切り、パネラーと部員で沢山の意見交換ができました。

特に乳房炎対策では、牛床の管理、自給飼料のカビの防除、バルク乳のサンプル検査、バルクスクリーニング検査での定期的な把握などの取組みがありました。

乳房炎対策として、昔から「搾り切れ」とありましたが、過搾乳が原因で乳頭口を痛めつけてしまい、乳頭口が開き、かえって乳房



◀研修会風景

炎の可能性が高まります。ミルク離脱時に、乳房に1ℓ程度は、残っている問題無い。乳房炎治療等で、最後まで搾り切りたいたときは、手搾りで搾り切るほうが治りやすい。また、

乳房炎のうち半分は抗生物質を使わなくても、しっかり管理すれば治る等アドバイザーから詳しい説明を頂きました。また、部員からは、乳頭洗浄の仕方質問等がありました。

その他、沢山の質問と参考になるアドバイスを頂き、予定時間をオーバーするほど大いに盛り上がり、有意義な研修会となりました。

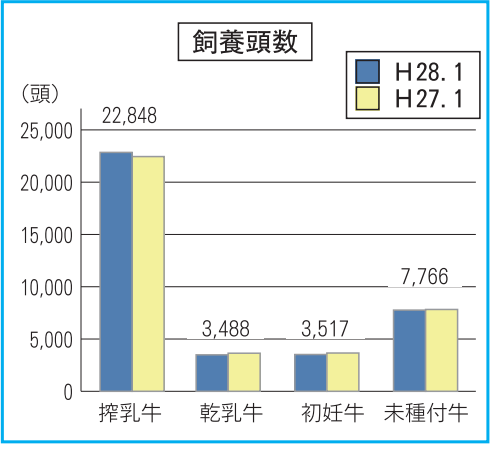
青年部本部では、部員の皆様の経営の一助となるような活動を今後も実施して参ります。部員の皆様から「こんな事をやって欲しい!」等、ご意見がございましたら、お近くの青年部本部役員へご一報下さい。

● 乳牛飼養動態調査

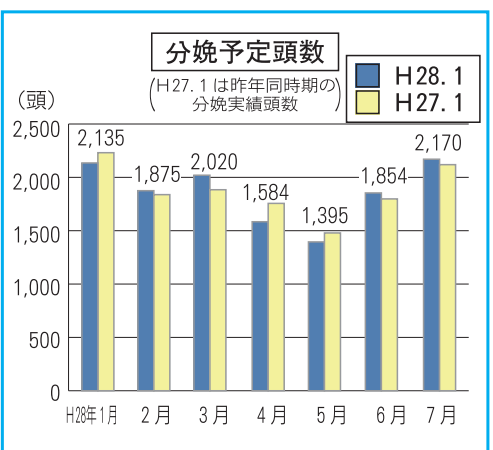
1月1日現在での乳牛飼養動態調査を実施した結果が取りまとめられましたので、以下のとおり報告します、

1 出荷者戸数・飼養頭数について

前年1月と比較すると酪農中止は16戸(団体公共を除く)となり、出荷者数は前年同月比3.2%減の4,577戸となりました。廃業の理由は、高齢や後継者がいない4戸、経営不振や他産業への転業1戸、経営不振2戸、死亡・病気療養その他9戸でありました。酪農中止者は16戸ですが、期間中の新規加入が1戸あった為、差引15戸の減少となりました。酪農中止者16名の廃業時なお、酪農中止者16名の廃業時の飼養頭数は416頭でした。2 飼養頭数について 飼養頭数の内訳は、経産牛は前年1月比0.9%増加し2万6,346頭、自家育成牛は前年比0.3%減少し18,881頭、外部預託



牛は前年比6.5%減の24,655頭でした。また、1戸あたりの平均飼養頭数は2.7頭増加し、82.3頭で前年に引き続き増加しています。なお、搾乳牛は前年より1.8%増加し2万2,848頭、乾乳牛は4.2%減の3,488頭でした。育成牛(自家・外部預託含む)の保有率は、0.6%減30.0%で1万1,283頭となりました。3 分娩頭数について 平成28年7月までの分娩予定頭数は、前年同期分娩実績に比べ10.2頭減少し1万3,033頭となつていきます。単月で見ると、1月・4月・5月が昨年より減少(減少率平均6.6%、最大は4月で9.8%の減)しているものの、その他の月では増加している(増加率平均3.3%、最大は3月で7.2%の増)、平成28年上期は、春先から春にかけて一度減少傾向となった後、夏に向かっ



乳牛飼養動態調査表

(平成28年1月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数							育成牛保有率(%)	1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛頭数	月別分娩予定頭数 (カッコ内は内数で判別精液頭数、また平成27年1月は実績頭数)								
			経産牛			自家育成牛		外部預託牛					合計	H27.1	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
			搾乳	乾乳	小計	初妊	未種付	初妊	未種付					H27.1	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
那須高原	H28.1	287	14,779	2,176	16,955	1,789	3,774	516	1,207	24,241	30.06	84.5	545	1,342 (83)	1,135 (66)	1,269 (82)	1,051 (64)	990 (61)	1,178 (70)	1,388 (72)	8,353 (498)
	H27.1	295	14,241	2,182	16,423	1,662	3,859	723	1,170	23,837	31.10	80.8	806	1,395	1,210	1,261	1,144	999	1,168	1,329	8,506
	増減	▲ 8	538	▲ 6	532	127	▲ 85	▲ 207	37	404	▲ 1.05	3.7	▲ 261	▲ 53	▲ 75	8	▲ 93	▲ 9	10	59	▲ 153
宇都宮	H28.1	78	2,908	452	3,360	535	1,103	88	299	5,385	37.60	69.0	46	302 (36)	267 (28)	249 (25)	191 (16)	173 (10)	244 (21)	282 (22)	1,708 (158)
	H27.1	82	2,983	478	3,461	506	1,226	108	284	5,585	38.03	68.1	48	288	243	229	225	164	229	231	1,609
	増減	▲ 4	▲ 75	▲ 26	▲ 101	29	▲ 123	▲ 20	15	▲ 200	▲ 0.43	0.9	▲ 2	14	24	20	▲ 34	9	15	51	99
県南	H28.1	92	5,161	860	6,021	469	1,148	120	235	7,993	24.67	86.9	25	491 (13)	473 (15)	502 (14)	342 (9)	232 (7)	432 (12)	500 (11)	2,972 (81)
	H27.1	95	5,224	982	6,206	542	1,059	120	230	8,157	23.92	85.9	23	548	415	394	387	316	401	559	3,020
	増減	▲ 3	▲ 63	▲ 122	▲ 185	▲ 73	89	0	5	▲ 164	0.75	1.0	2	▲ 57	58	108	▲ 45	▲ 84	31	▲ 59	▲ 48
小計	H28.1	457	22,848	3,488	26,336	2,793	6,025	724	1,741	37,619	29.99	82.3	616	2,135 (132)	1,875 (109)	2,020 (121)	1,584 (89)	1,395 (78)	1,854 (103)	2,170 (105)	13,033 (737)
	H27.1	472	22,448	3,642	26,090	2,710	6,144	951	1,684	37,579	30.57	79.6	877	2,231	1,868	1,884	1,756	1,479	1,798	2,119	13,135
	増減	▲ 15	400	▲ 154	246	83	▲ 119	▲ 227	57	40	▲ 0.58	2.7	▲ 261	▲ 96	7	136	▲ 172	▲ 84	56	51	▲ 102
※1 団体	H28.1	2	26	8	34	3	7	0	0	44	22.73	22.0	22	2 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	15 (0)
	H27.1	3	32	10	42	9	9	0	0	60	30.00	20.0	32	4	3	0	3	1	2	9	22
	増減	▲ 1	▲ 6	▲ 2	▲ 8	▲ 6	▲ 2	0	0	▲ 16	▲ 7.27	2.0	▲ 10	▲ 2	▲ 1	0	1	0	0	▲ 5	▲ 7
合計	H28.1	459	22,874	3,496	26,370	2,796	6,032	724	1,741	37,663	29.98	82.1	638	2,137 (132)	1,877 (109)	2,020 (121)	1,588 (89)	1,396 (78)	1,856 (103)	2,174 (105)	13,048 (737)
	H27.1	475	22,480	3,652	26,132	2,719	6,153	951	1,684	37,639	30.57	79.2	909	2,235	1,871	1,884	1,759	1,480	1,800	2,128	13,157
	増減	▲ 16	394	▲ 156	238	77	▲ 121	▲ 227	57	24	▲ 0.59	2.8	▲ 271	▲ 98	6	136	▲ 171	▲ 84	56	46	▲ 109

※1 H28.1の団体件数は大学1校、高校1校。H27.1の団体件数は高校1校、大学2校。



生乳販売課

平成28年2月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し100.6%増(閏年修正102.5%)の1万9,052tと、52ヶ月連続して前年を上回る状況です。また、累計の受入乳量は、那須高原支所14万3,109.0t(前年比109.0%)、宇都宮支所2万8,068.8t(前年比98.4%)、県南支所4万7,862.2t(前年比101.5%)、合計で21万5,961.1t(前年比105.8%)となり、那須高原支所・県南支所の生産量が前年を上回りましたが、宇都宮支所においては、前年を下回る状況が続いております。出荷者数は、前年同月より17戸減の457戸(内、学校は2校)でした。

また、2月度の平均乳質は、脂肪率については大きく前年を上回る状況、無脂固形分率については若干前年を下回りました。細胞数は昨年1月から前年を上回る状況が続いております。

尚、2月度の累計不合格件数は1054件となり、前年(801件)を大きく上回り、平成25年並み(1029件)の発生件数となりました。

関東生乳販連の2月総受託乳量は、前年比103.2%、2804t増(閏年修正では99.7%とマイナス)、累計では100.0%とマ(閏年修正で100.5%)、8049t増の状況です。

2月の用途別の販売数量は、飲用向けが前年比106.7%(閏年修正で103.0%)と前年を上回り、加工率は8.65%と前年を5ヶ月連続で下回る値です。飲用向

関東生乳販連用途別販売数量

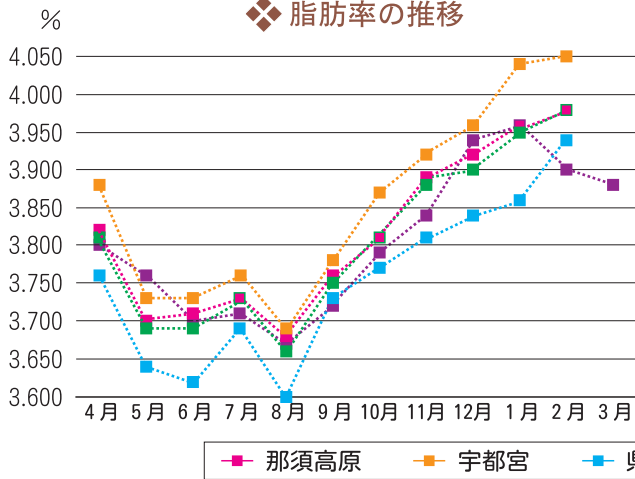
(単位: kg・%)

用途	2月実績	前年実績	前年比		累計実績	前年同期実績	前年比	
				閏年修正				閏年修正
飲用牛乳向け	68,778,806	64,478,771	106.7	103.0	766,214,831	747,342,260	102.5	102.2
(うち学校向け)	12,647,946	12,343,530	102.5	98.9	114,033,042	113,691,670	100.3	100.0
はっ酵乳向け	12,014,079	11,284,196	106.5	102.8	140,882,097	142,732,880	98.7	98.4
特定乳製品向け(加工)	7,791,860	9,664,599	80.6	77.8	88,750,646	96,339,783	92.1	91.9
(うち委託加工向け)	0	0	-	-	0	0	-	-
生クリーム向け	1,452,564	1,813,197	80.1	77.3	19,136,263	20,595,879	92.9	92.7
チーズ向け	58,721	50,978	115.2	111.2	708,793	632,855	112.0	111.7
全乳哺育向け	0	0	-	-	0	0	-	-
総受託乳量	90,096,030	87,291,741	103.2	99.7	1,015,692,630	1,007,643,657	100.8	100.5
加工比率	8.65	11.07	-	-	8.74	9.56	-	-

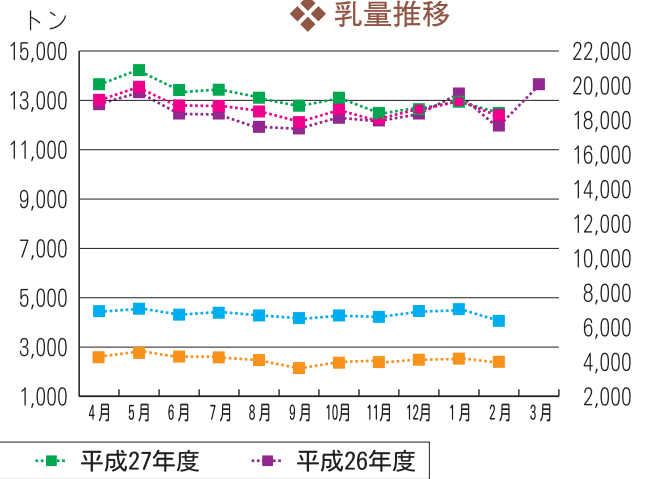
けが、加工率は102.5%と前年を上回ります。また、2月の全国生産量は、前年比103.8%(閏年修正で101.2%)と上回りました。北海道は105.5%(閏年修正で101.9%)と堅調となっております。101.9%と堅調となっております。101.9%と堅調となっております。

尚、平成28年2月の生乳販売数量は、別表のとおりとなっております。

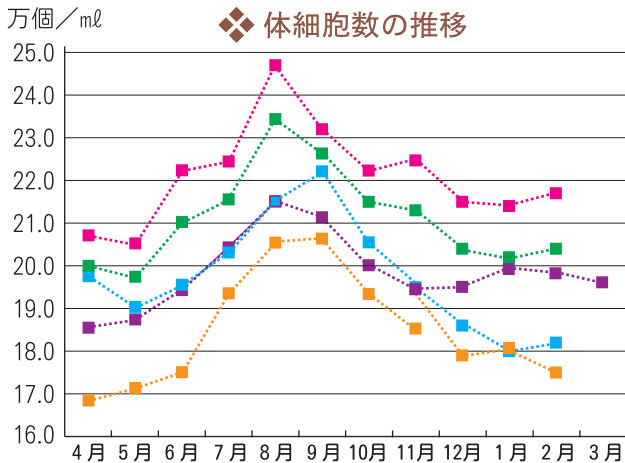
◆ 脂肪率の推移



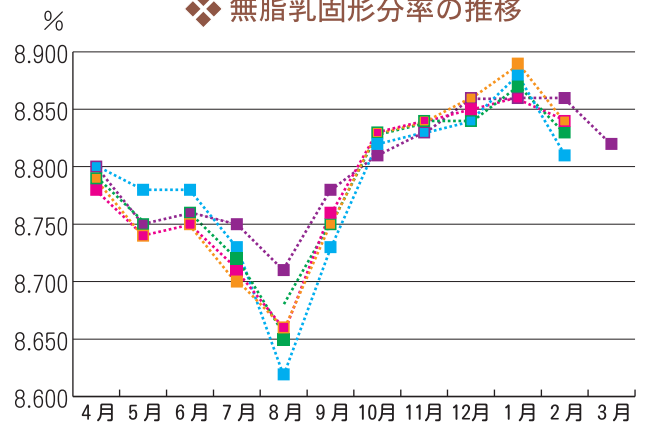
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



理事会だより

12月度理事会 (12月28日)

報告事項

- (一) 組合員の加入脱退について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 年末手当の支給について
- (六) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (七) 生乳生産管理チェックシート記帳・記録状況について
- (八) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 11月度事業実績について
- (二) 旧栃木事業所の土地売却予定価格の設定について
- (三) 平成27年度組合購買利用推進女性研修会の実施について
- (四) 第15回酪農まつりについて
- (五) 後継牛安定確保対策事業について
- (六) 組合と理事との契約について

1月度理事会 (1月29日)

報告事項

- (一) 組合員の加入脱退について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について

- (四) 組合プール乳価について
- (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (六) 乳牛飼養動態調査結果について
- (七) 子会社の第3四半期事業実績について
- (八) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 12月度及び第3四半期事業実績について
- (二) 固定資産の取得について

2月度理事会 (2月29日)

報告事項

- (一) 組合員の加入脱退について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 役員報酬等審議会答申について
- (六) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (七) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 1月度事業実績について
- (二) 平成27年度割当量の超過・未達の取扱いについて
- (三) 平成28年度生乳計画生産について
- (四) 旅費・実費弁償規程の改正について
- (五) 年度末手当の支給について

お知らせ

組合員資格確認のお願い

組合員の皆様の組合員資格に變動が生じた場合は、定款第14条の定めるところにより、書面にて当組合にお届けいただくことになっております。組合員資格に變動があった場合は、お手数ですが当組合の管轄支所宛に組合員資格の變更をお申し出いただきませうようお願いいたします。

※組合員資格の變動

- 組合員資格喪失、氏名・住所の變更等
- 正組合員から准組合員又は准組合員から正組合員に資格が變動した場合等

第15回酪農まつり

と き 平成28年4月2日(土)
と ころ 酪農とちぎふれあい牧場
(塩谷郡高根沢町 大字下柏崎54-1)

平成29年4月新規採用職員募集

採用予定者

平成29年3月末大学・短大の卒業見込者 若干名

願書受付期間

平成28年5月31日(火)まで

採用試験日時

一次(筆記) 平成28年6月中旬
二次(面接) 平成28年6月下旬

詳細については、当組合ホームページにてご確認ください。

2月度 ホクレン初妊牛市場成績 (単位：千円(税込))

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率(%)	平均価格	(そのうちEIT牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	2月3日	594	525	88.4	730	75	61	893
根室	2月4日	389	324	83.3	725	34	30	930
南北海道	2月5日	120	113	94.2	744	13	13	907
豊富	2月12日	262	210	80.2	688	5	5	883
釧路	2月17日	246	188	76.4	710	7	4	885
十勝	2月18日	648	581	89.7	754	57	50	922
北見	2月19日	322	294	91.3	722	3	2	829
根室	2月25日	386	342	88.6	716	17	11	914
合計		2,967	2,577	86.9	728	211	176	909
前月		2,199	1,952	88.8	715	141	128	896
前年同月		3,245	2,376	73.2	570	202	150	709

初妊牛の今後の動向は、5～6月分娩が中心となります。価格については、前号での既報の通り道内外の大型牧場による導入が引き続き強い事・北海道内の搾乳意欲が強い事から出回り頭数が減少しており、この先4月導入位までは相場の上昇も考えられ、今後も高値で推移するものと予想されます。1月の育成市場において生後9ヶ月齢前後で50万円を超えて取引された事もありましたので、導入を希望される方は分娩腹の条件、価格等に十分余裕を持ってお申し込み下さいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2月度 県内家畜市場成績 (単位：円(税込))

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
須	F1雄	89	89	64	341,280	68,040	243,692	▲13,659
	F1雌	81	81	59	244,080	69,120	169,200	4,481
館林	ホルス雄	2	2	88	77,760	65,880	71,820	71,820
	F1雄	19	19	99	341,280	271,080	298,648	▲6,512
	F1雌	13	13	99	258,120	219,240	235,939	11,109

素牛相場や枝肉相場等の動向で価格も影響しますが、今回の初生牛の取引価格は前回から比較し、F1雌は高値、F1雄は低値で推移しています。那須市場2月はしめの価格と比較すると、F1雌は約11千円、F1雄は約10千円値上がりしていることから、今後も高値安定で推移するものと思われまます。

